

6-2 2/6時の指導計画

(1) 目 標

構成や登場人物を確かめ、情景描写の効果を考えて感想をまとめることができる。

(2) 展 開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 前時の学習を振り返り、 本時の目標を確かめる。	学習計画 表	○前時に設定した学習課題 を一斉に読み上げさせ、2 ～3名の生徒に前時の「振 り返り」の欄に書いたこと を発表させる。	
	構成や登場人物を確かめ、情景描写の効果を考えて感想をまとめよう			
展 開	2 小説の全体の構成をつか み、登場人物を確認する。 〔手順〕 1) ワークシート②の表 の区切りの線が、本文 のどこに当たるか確認 し、前半が現在の場面、 後半が過去の場面にな っていることを理解す る。〔一斉〕 2) ワークシート②にあ る空欄に、適当な語句 を入れて表を完成させ る。〔個〕 3) 過去の場面を大きく 二つに分けて点線を書 き入れる。〔個〕 4) グループで、マーキ ングをしたところ、空 欄に書き込んだ語句、 点線を付けたところを 確かめ合う。〔グループ〕 5) 学級で点線を付けて 分けたところを確かめ 合う。〔一斉〕	ワークシ ート② 本文ワー クシート 〈I〉 〈II〉 〈III〉	○現在の場面から過去の 回想へと続き、過去の回 想のまま物語が終わる ことに注目させる。 〔ファンタジーや芥川龍 之介の「蜘蛛の糸」な どを例に挙げて比較し、 構成が特殊であることを 知らせる。〕 ○前半の「客」が、後半の 「僕」となって、語り手 となっていることに気付 かせる。 ○時間や出来事、登場人物 に着目させ、3つの場面 （現在の場面、過去の場 面I、過去の場面II）に 分けさせる。 〔東京書籍〕 現在…P148L1～P150L11 過去A…P150L12～P153L13 過去B…P153L14～P160L10 ◆ワークシート②を教材提 示装置で投影して、点線で 分けたところを確実に理解 させる。	◇ワークシート②を活用して いない生徒には、前時にマ ーキングをしたところと、 ワークシート②の表を対照 させて、構成を大まかに捉 えさせ、空欄に適当な語句 を書かせる。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展 開</p>	<p>3 現在の場面を読み、情景描写の効果について考えて感想をまとめる。</p> <p>[手順]</p> <p>1) 既習事項を想起させ、情景描写の効果を出し合う。【一斉】</p> <p>2) 現在の場面の情景描写について、どのような効果があるか考える。【個】</p> <p>3) 物語の展開において最も重要だと考える情景描写について、グループで話し合い、理解を深める。【グループ】</p> <p>4) 最も重要だと考える情景描写を学級で発表し合い、「少年の日の思い出」における前半部分の情景描写の役割について考えをまとめる。【一斉】</p> <p>5) ワークシート③に「少年の日の思い出」における前半部分の情景描写の役割について自分の考えたことをまとめる。【個】</p>	<p>ワークシート③</p> <p>画用紙 サインペン</p>	<p>○情景描写の効果について、人間の五感で感じる「暗さ」や「静けさ」がどのような印象を与えるのか考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《板書例》</p> <p>情景描写の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の雰囲気を作る ・登場人物の心境を表す ・語り手の心境を表す ・これから起こる出来事を暗示する(予感させる) ・読み手の感覚に直接訴えて感動を生む </div> <p>◆グループの話し合いの結果について、記録係が書いたフリップを教材提示装置で投影して発表させる。</p> <p>○グループでの話し合いや学級での発表を通して広がった考えをまとめるように促す。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【読①】場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解して自分の感想をもっている。</p> <p>【本文ワークシート<I>】</p> <p>【ワークシート③】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-style: dashed; padding: 5px;"> <p>現在の場面の情景描写にマーキングをして、その効果について具体的に書いている状況を「おおむね満足できる」状況（B）と判断する。</p> <p>情景描写の1つを取り上げて、グループの話し合いや学級での発表を振り返らせ、具体的にまとめられるように必要な言葉を捉えさせる。捉えた言葉を手掛かりにさせてワークシート③に情景描写の効果を書かせる。</p> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ま と め</p>	<p>4 学習計画表の「評価」の欄に学習活動をA・B・Cの3段階で自己評価して書く。また、「振り返り」の欄に「学んだこと・参考になったこと」を文章で書く。</p> <p>5 次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。</p>	<p>学習計画表</p> <p>ワークシート④</p>	<p>○目標に応じて学習内容がどうであったか考えて振り返るよう促す。</p> <p>○板書を参考にして学んだことを書かせる。また、グループや学級での参考になった発言などを書くように促す。</p> <p>○次時は人物像を捉える学習に取り組むことを確認し、あらかじめワークシート④を渡しておく。</p>	